

第6回 和束町総合保健福祉施設建設委員会

<会 議 録>

日 時 : 令和6年7月4日(木) 午後1時30分～午後3時15分

場 所 : 和束町商工会館 研修室

出席委員 :	宗 田 好 史〔委員長〕	京都府立大学名誉教授・関西国際大学教授
	岡 田 勇〔副委員長〕	和束町議会 議会運営委員長
	柳 澤 衛	相楽医師会和束町班 前班長
	馬 場 かよ子	和束町国民健康保険診療所医療担当課長【牛込委員代理】
	東 壽 亮	和束町社会福祉協議会長
	村 山 一 彦	和束町老人クラブ連合会長
	岡 田 好 子	和束町身体障害者協議会 副会長
	岡 田 芳 明	社会福祉法人 和楽会 評議員
欠席委員 :	畑 武 志	和束町議会 総務厚生常任委員長
	細 川 暢 子	京都府山城南保健所長
	安 藤 浩 道	京都府山城南土木事務所 技術次長
	木 崎 富喜子	和束町民生児童委員協議会 副会長

事 務 局 : 総合施設整備課 (但馬課長・大木主事・中嶋)

設 計 者 : (株)シーラカンスアンドアソシエイツ (坂田氏・ビルグテ氏・廣崎氏)

傍 聴 者 : なし

〔会議内容〕

1. 宗田委員長あいさつ

会議開催にあたり、宗田委員長からあいさつ

2. 委員紹介

資料1 委員名簿をもとに、事務局より各委員を紹介

3. 報告事項

(1) 第5回和束町総合保健福祉施設建設委員会会議録について

下記資料をもとに、事務局より報告

資料2 第5回和束町総合保健福祉施設建設委員会会議録

(2) 和束町健康福祉交流センターの設置及び管理に関する条例について

下記資料をもとに、事務局より報告

資料3 和束町健康福祉交流センターの設置及び管理に関する条例

(3) 和束町総合保健福祉施設建設工事請負契約の第1回変更について

下記資料をもとに、事務局より報告

資料4 総合保健福祉施設建設工事請負契約の第1回変更について

<質疑(要旨)>

委員 : これは報告事項か。工事費用が高すぎるとか、そのようなものはなしか。

事務局 : 報告事項であり、すでに議決をいただいている。

委員 : 当初予算から増え、金額があまりにも大きい、16億か。

事務局 : はい。

4. 議 事

(1) 総合保健福祉施設の愛称について

下記資料をもとに、事務局及び設計者より説明

資料5 総合保健福祉施設の愛称について

<質疑(要旨)>

委員 : 愛称を呼ぶときは、和束町総合福祉交流センター『ちゃの一ぱ』と呼ばばよいか。

事務局 : そういうイメージを持っていただければと思う。

委員 : 普通は『ちゃの一ぱ』と呼ぶのではないか。

設計者 : ごく一般の利用者の方は、愛称だけで呼ぶと思う。ただ、この施設が完成して、ロゴ、愛称、施設名称が書かれたとき、正式名称と愛称を一緒に載せることが多いことも踏まえている。

委員：『CHA』について、『CHA』、『TYA』どちらをお茶と表記するか。外国語ならば、『ティー』とか『テ』は、フランス語にしても『T』で始まる。『CHA』でもいいが、『TYA』でもいいのではないかな。

『cha nova』『Tabanel』の表記は、外国語で複雑だと思う。また、『ちゃの一ぱ』の『ちゃ』は日本語、『の一ぱ』は外国語なので、カタカナに変えるなど補作した方が良いと思う。読み方も『ちゃのば』なのか『ちゃの一ぱ』なのかを統一して、誤解のないように、cha nova（ちゃのば）とかっこ書きで表記した方がよいと思う。

委員長：nova は、もともとラテン語で、フランス語、スペイン語、イタリア語にもあって、微妙にスペルが違うが、もともとラテン語起源である。インターネットでも本でも、何か根拠がほしい。

設計者：語源は天文的に使っている、スーパーノバという意味という記載がある。ラテン語の新星から、今の時代に置き換わって未来に切り拓いていくという意味になる。

委員長：それは、12 世紀、13 世紀の話であるから、ラテン語の起源から比べるとずいぶん新しい。新星というのは後の解釈で、ラテン語は 2000 何百年近く使われている中で、中世やいろんな時期にいろんな意味で使っていた。印象ではなく、言語的な説明をちゃんとしているのか。先進的とは何をもって先進的なのか。

設計者：先進的な印象とは、おしゃれすぎると印象を受けてしまうという意味で、施設の親しみやすさと合わない。

委員長：茶は日本語であるけれども、もともと中国から来た言葉で、インドに行けばチャイ、ヨーロッパにいけば Tea になっている。それだと Tea なので、TYA の方が近い。

委員：和東町の意見はどうか。

事務局：設計者、デザイナー、事務局と色々な見解で絞らせていただいた。別紙 2 の中の他にもよい愛称があれば、あげていただきたい。

- 委 員 : 最終決定は町議会か。
- 事務局 : 本日、ここで決めていただいた後、町長に提言する。最終決定は町長であり、町長から承諾があれば決定となる。
- 委 員 : 和束町の独自のセンターと理解してもらえないようにしないといけない。
- 委 員 : 福祉センターというならば、なぜお茶か。福祉の意味があるもの、福祉が出て来るもので見ていると、お茶の葉とかけて『リーブ』、あとに里をつけて『リーブの里』のように、町民が福祉センターとわかるような愛称が良いと思う。葉っぱというなら『結の葉』もあり、葉っぱから集まる印象がある。『おちゃのぼ』となったときに、ここでお茶するのかというイメージがある。
- 委員長 : 『リーブ』は、お茶の葉と福祉をかけていて、『結の葉』の『結』は、助け合いという意味かもしれない。福祉なら他にも『wellness』もある。3つの中なら、『わわわ』が福祉に近い。建築物には、福祉医療の機能もあるので、福祉の名前もよいと思う。
- 委 員 : 和束町健康福祉交流センターの後につけることを考えると二重になってしまう。和束は、お茶畑とお茶でいこうという決意を示したから、美しい村連合に加盟した。
- 委 員 : 茶源郷という言葉は、生かさないのか。
- 委 員 : 茶源郷というのは全体のこと、これは建物の愛称なので、茶源郷としなくてよいと思う。本当に今日がタイムリミットか。
- 事務局 : この名前をもって、建物のサインを作るため、今日お決めいただかないと建築工程にも影響する。応募者には、建設委員会で選定することを前提で応募いただいている。
- 委 員 : 議会にかけるもしくは、町民に投票してもらおうと思っていた。
『おちゃのぼ』を『おちゃの一ぱ』にするのもありか。『わわわせんたー』でもよいか。
- 事務局 : よい。

委 員 : 愛称の語源や意味を考えなければ、言いやすいもの、語呂や韻であれば、チャは言いやすい。タからは言いにくい。

委員長 : 日本語読みであれば『ちゃのば』、ラテン系の言葉をベースにするなら、『ちゃの一ば』になる。実際、新茶シーズンになるとインドから入ってきたものは、『ちゃの一ば』ということもある。

委 員 : 外国の方が呼びやすい『ちゃのば』『わわわ』がよいと思う。

委員長 : 町長のご意向があった方がよいかとは思いますが、このままでいくと『ちゃのば』になる。ただ、京都府が宇治茶文化遺産登録を推奨していて、お茶畑や景観を評価されていると考えると、『おちゃのば』のように『お』をつけない方がよいと思う。

委員長 : 愛称候補は「cha nova」とし、和束町長へ意見具申する。

(2) 愛称応募者に係る賞品抽選について

委員による抽選により、10名の賞品（図書カード 1千円分）当選者を次のとおり決定した。

作品番号 5・17・18・47・52・64・70・74・97・98

5. 現場視察

設計者の案内により建設現場を視察

6. その他

今回は、12月頃の竣工式に招待する予定。

7. 閉 会

会議閉会に当たり岡田副委員長からあいさつ。